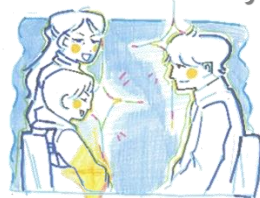


上演

13

ドラマ スクープ
速報! Drama Scoop

銀河鉄道四 夜をカケル



尚絅学院高等学校

楽屋インタビュー

- 1 本番を終えて、どんな気分ですか？
楽しかった！ 終えられてよかった、ほんとうに。みんな頑張った。
- 2 本番中ハプニング
オープニングの照明。場面転換の音。「残虐な判断…」。
いすと布を挟むやつがずっとあった。
- 3 思い出に残った台詞
残虐な判断だ。…間違えました、すみません!!
- 4 大会期間中、部活内で流行ったワード・行為
ぎょうざ。ディバ準。
- 5 見てくれたお客さんに向けて
ありがとうございます。感謝。アーメン。



お客さんインタビュー

- 「核兵器所持の賛否」という重めの話題をテーマに据えながら、観客席を使う演出により、普段は遠い国の話のように感じていた話題を、身近に感じることができて引き込まれた。
- 現実のような汽車を煙と照明で表現したり、演者の一部が観客席で演じることでもまるで第三者の立場に立ってその場にいるような錯覚に陥っ

運営委員が観た！
この劇の感想

- 演出の技術力が非常に高く、音楽の使い方、汽車のスモーク、ステージ奥の星の表現、さらには客席までも使った演技など、臨場感ある演出で圧倒させられてしまいました。また、「核兵器」という重いテーマでディバートを開いていて、私たちも考えさせられました。どの点を挙げてても素晴らしい演出です！ 担当：渡辺(二華)
- こうたがうつむく仕草から、人と話すのに慣れていないのか、緊張しているかと思われるなど、役者の細かな手の動きや動作に人物の性格や癖が表現されていた。銀河鉄道が到着する場面で、スモークで到着を表しつつ舞台装置の転換もしていた点も印象的だった。観劇後、核と平和は他人事じゃない、未来は若者に託されていると思った。 担当：佐藤(仙台南)